

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 大

上場会社名 日本ライフライン株式会社

コード番号 7575 URL <http://www.jll.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 啓介

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 政次 浩二

TEL 03-6711-5200

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	11,573	5.3	662	21.7	646	3.3	413	26.4
23年3月期第2四半期	10,985	△0.5	544	△26.3	625	△21.2	326	△17.1

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 362百万円 (13.5%) 23年3月期第2四半期 319百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	38.25	—
23年3月期第2四半期	30.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	24,503		14,733		60.1	
23年3月期	23,710		14,694		62.0	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 14,733百万円 23年3月期 14,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,021	7.4	1,454	49.4	1,450	33.9	1,078	39.6	99.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	11,302,497 株	23年3月期	11,302,497 株
24年3月期2Q	500,473 株	23年3月期	500,438 株
24年3月期2Q	10,802,035 株	23年3月期2Q	10,802,164 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P5「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。

平成23年11月17日(木).....アナリスト向け決算説明会

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	12
5. 補足情報	13
生産、受注及び販売の状況	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

(売上高について)

当第2四半期連結累計期間の当社グループといたしましては、主力商品である心臓ペースメーカを扱うリズムデバイスにおきまして前年同期と同水準の売上高となったほか、EP（電気生理用）カテーテルや人工血管などの自社グループ製品におきましても、前年同期を上回って推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は115億7千3百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

品目別の販売状況は以下のとおりです。

&lt;品目別売上高&gt;

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	増減率
リズムデバイス	5,300	5,370	1.3%
EP/アブレーション	2,306	2,474	7.3%
外科関連	1,144	1,158	1.2%
インターベンション	1,516	1,860	22.7%
その他	717	709	△1.0%
合計	10,985	11,573	5.3%

※各品目区分に分類される主たる商品は以下のとおりです。

リズムデバイス	心臓ペースメーカ、ICD（植込み型除細動器）、CRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカ）
EP/アブレーション	EP（電気生理用）カテーテル、アブレーションカテーテル
外科関連	人工血管、人工心臓弁、人工心肺関連商品
インターベンション	バルーンカテーテル、ガイドワイヤー、心房中隔欠損閉鎖器具、動脈管開存閉鎖器具、血管内異物除去用カテーテル
その他	血液浄化関連商品

## ①リズムデバイス

心臓ペースメーカにおきましては、「REPLY（リプライ）」の拡販により、販売数量は前年同期に比べ4.5%増加いたしました。また、ペースメーカリードにおきましては、従来の取扱商品から、自社ブランド品で収益力の高い「J-Line（ジェイ・ライン）」シリーズへの切り替えが進んでおります。

ICD（植込み型除細動器）関連におきましては、市場は拡大傾向にあるものの、企業間競争が激しさを増していることから、新商品「PARADYM（パラダイム） CRT-D」の市場導入の進捗が当初見込みに比べ遅れております。

以上の結果、リズムデバイスの売上高は53億7千万円（前年同期比1.3%増）となりました。

## ②EP/アブレーション

EPカテーテルにおきましては、心房細動のアブレーション治療の増加を背景として、「EPstar

Libero (EPスター・リベロ)」を中心に好調に推移し、売上高は前年同期比19.3%の増加となりました。また、アブレーションカテーテルにおきましては、競合製品の影響により、売上高は前年同期比9.2%の減少となりました。

以上の結果、EP/アブレーションの売上高は24億7千4百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

### ③外科関連

人工血管におきましては、新工場の稼働により自社グループ製品「J Graft (ジェイ・グラフト)」の安定的な生産体制が確立したことから、売上高は前年同期比20.7%の増加となりました。

人工心臓弁におきましては、生体弁の耐久性向上等により生体弁市場が伸長し、当社が取り扱っております機械弁市場が減少傾向にあることから、売上高は前年同期比16.5%の減少となりました。

以上の結果、外科関連の売上高は11億5千8百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

### ④インターベンション

バルーンカテーテルにおきましては、「LIFESPEAR (ライフスピーア)」シリーズが引き続き販売数量を伸ばし、売上高は前年同期比38.0%の増加となりました。

また、心房中隔欠損閉鎖器具および動脈管開存閉鎖器具におきましては、認定施設数の増加などにより売上高は前年同期比24.2%の増加となりました。

以上の結果、インターベンションの売上高は、18億6千万円（前年同期比22.7%増）となりました。

### ⑤その他

連結子会社において販売している血液浄化関連商品等の販売数量が減少し、その他の売上高は、7億9百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

(損益について)

#### ①営業利益

当第2四半期連結累計期間におきましては、昨年4月の保険償還価格の引き下げ前に仕入れた原価の高い商品在庫が減少し、全般的に在庫単価が低減していることに加えて、収益性の高い自社ブランド商品の寄与などにより、売上総利益率は前年同期に比べ3.2ポイント改善いたしました。

また、販売費及び一般管理費につきましては、研究開発等の成長投資を行なったことなどにより前年同期に比べ、11.5%増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における営業利益は6億6千2百万円（前年同期比21.7%増）となりました。

#### ②経常利益

受取利息および受取配当金等を、営業外収益として3千万円計上した一方、支払利息等を営業外費用として4千7百万円計上した結果、当第2四半期連結累計期間における経常利益は6億4千6百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

#### ③四半期純利益

AGA Medical社商品の独占販売契約終了に伴い、特別利益として薬事承認権譲渡益を2億4千4百万円計

上した結果、当第2四半期連結累計期間における四半期純利益は4億1千3百万円（前年同期比26.4%増）となりました。

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

### （連結貸借対照表に関する分析）

#### ①資産

当第2四半期連結会計期間の資産につきましては、流動資産が前連結会計年度に比べ2億8千9百万円減少し、169億2千万円となりました。これは主として現金及び預金が6億5千8百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が3億1千1百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度に比べ10億8千2百万円増加し、75億8千2百万円となりました。これは主として有形固定資産が2億5千9百万円、投資有価証券が4億2千1百万円、長期貸付金が3億6百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は前連結会計年度から7億9千3百万円増加し、245億3百万円となりました。

#### ②負債

当第2四半期連結会計期間の負債につきましては、流動負債が前連結会計年度に比べ7億8千3百万円増加し、68億5千6百万円となりました。これは主として短期借入金が7億円増加したことによるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度に比べ2千8百万円減少し、29億1千3百万円となりました。

以上の結果、負債合計は前連結会計年度から7億5千4百万円増加し、97億7千万円となりました。

#### ③純資産

当第2四半期連結会計期間の純資産につきましては、前連結会計年度に比べ38百万円増加し、147億3千3百万円となりました。これは主として剰余金の配当を3億2千4百万円実施したこと、及び、四半期純利益を4億1千3百万円計上したことによるものであります。

### （連結キャッシュ・フロー計算書に関する分析）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度に比べ6億5千8百万円減少し、24億1千6百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて4億1千1百万円収入が増加し、4億9千2百万円の収入となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益が1億7千2百万円増加して8億7千5百万円を計上したのに加え、役員退職慰労引当金の増減による収入が9百万円（前年同期は1億8千8百万円の支出）、未払費用の増減による収入が3千2百万円（前年同期は1億5千9百万円の支出）となった一方で、仕入債務の増加による収入が2億7千6百万円減少した9百万円となったことによるものであります。

## ②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて3千3百万円支出が増加し、14億3千6百万円の支出となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出が9億9千2百万円減少して4億2千7百万円となった一方で、投資有価証券の取得による支出が4億6千2百万円増加した4億6千3百万円、長期貸付による支出が3億4千8百万円増加した3億5千6百万円となったことによるものであります。

## ③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて1億7千万円収入が減少し、2億8千5百万円の収入となりました。これは主として短期借入による収入が7億円あった一方で、長期借入による収入が当第2四半期連結累計期間にはなかった(前年同期は7億5千万円の収入)こと、また、長期借入金の返済による支出が6千5百万円増加した8千1百万円となったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間において未執行となっている販売費及び一般管理費予算が第3四半期連結会計期間以降に執行される見込であるため、現時点では平成23年4月28日に開示いたしました数値と大幅な乖離は生じないものと見込んでおります。

したがって、開示しております連結業績予想からの変更はありません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

連結子会社は、法人税等の算定に当たり、税金等調整前四半期純利益に見積実効税率を乗じて算定する方法によっております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,669,526	2,011,172
受取手形及び売掛金	6,557,235	6,868,707
有価証券	405,049	405,219
たな卸資産	6,702,323	6,638,406
繰延税金資産	391,660	400,480
その他	488,108	600,951
貸倒引当金	△3,942	△4,201
流動資産合計	17,209,961	16,920,736
固定資産		
有形固定資産	2,942,655	3,202,509
無形固定資産		
のれん	10,432	6,750
その他	39,016	34,825
無形固定資産合計	49,449	41,575
投資その他の資産		
その他	3,513,293	4,344,558
貸倒引当金	△5,252	△5,702
投資その他の資産合計	3,508,040	4,338,856
固定資産合計	6,500,145	7,582,942
資産合計	23,710,107	24,503,678
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,542,529	1,551,977
短期借入金	2,170,000	2,870,000
1年内返済予定の長期借入金	189,500	224,500
未払金	635,093	653,913
未払法人税等	437,277	515,242
賞与引当金	22,426	25,007
役員賞与引当金	31,520	—
移転費用引当金	37,350	37,350
その他	1,007,221	978,143
流動負債合計	6,072,917	6,856,132
固定負債		
長期借入金	499,000	383,000
長期未払金	722,127	722,127
退職給付引当金	1,253,452	1,312,448
役員退職慰労引当金	269,421	278,453
負ののれん	8,440	7,033

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
その他	189,860	210,813
固定負債合計	2,942,302	2,913,876
負債合計	9,015,220	9,770,009
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,115,241	2,115,241
資本剰余金	2,328,128	2,328,128
利益剰余金	10,600,484	10,689,576
自己株式	△351,472	△351,492
株主資本合計	14,692,381	14,781,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,506	△47,784
その他の包括利益累計額合計	2,506	△47,784
純資産合計	14,694,887	14,733,669
負債純資産合計	23,710,107	24,503,678

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	10,985,939	11,573,134
売上原価	5,737,686	5,667,008
売上総利益	5,248,252	5,906,125
販売費及び一般管理費	4,703,451	5,243,309
営業利益	544,800	662,815
営業外収益		
受取利息	1,283	3,227
受取配当金	6,054	2,176
為替差益	21,234	—
負ののれん償却額	1,406	1,406
スクラップ売却益	25,059	—
その他	37,842	23,957
営業外収益合計	92,880	30,768
営業外費用		
支払利息	8,544	10,647
為替差損	—	27,095
デリバティブ評価損	70	8,840
その他	3,468	853
営業外費用合計	12,083	47,436
経常利益	625,597	646,147
特別利益		
固定資産売却益	188	390
役員退職慰労引当金戻入額	112,927	—
薬事承認権譲渡益	—	244,590
特別利益合計	113,115	244,980
特別損失		
固定資産除却損	674	7,451
固定資産売却損	51	—
投資有価証券評価損	—	7,143
投資有価証券売却損	1,566	1,022
匿名組合投資損失	2,427	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	31,245	—
その他	—	450
特別損失合計	35,965	16,067
税金等調整前四半期純利益	702,746	875,060
法人税、住民税及び事業税	215,492	496,975
法人税等調整額	160,394	△35,068
法人税等合計	375,886	461,906
少数株主損益調整前四半期純利益	326,860	413,154
四半期純利益	326,860	413,154

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	326,860	413,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,134	△50,290
その他の包括利益合計	△7,134	△50,290
四半期包括利益	319,726	362,863
親会社株主に係る四半期包括利益	319,726	362,863

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	702,746	875,060
減価償却費	118,801	188,889
その他の償却額	74,770	74,505
負ののれん償却額	△1,406	△1,406
貸倒引当金の増減額(△は減少)	200	709
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△31,520
退職給付引当金の増減額(△は減少)	45,050	58,996
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△188,535	9,031
受取利息及び受取配当金	△7,337	△5,404
薬事承認権譲渡益	—	△244,590
支払利息	8,544	10,647
有形固定資産除売却損益(△は益)	538	7,061
デリバティブ評価損益(△は益)	70	8,840
投資有価証券評価損益(△は益)	—	7,143
投資有価証券売却損益(△は益)	1,566	1,022
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	31,245	—
売上債権の増減額(△は増加)	△208,450	△311,471
たな卸資産の増減額(△は増加)	△14,225	63,917
仕入債務の増減額(△は減少)	285,775	9,448
未払消費税等の増減額(△は減少)	102,810	△22,909
未払費用の増減額(△は減少)	△159,959	32,011
その他	△214,867	△55,771
小計	577,338	674,212
利息及び配当金の受取額	7,328	3,391
薬事承認譲渡による収入	—	244,590
利息の支払額	△8,208	△11,018
法人税等の支払額	△495,697	△418,882
営業活動によるキャッシュ・フロー	80,761	492,292
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,419,405	△427,273
有形固定資産の売却による収入	4,528	3,703
無形固定資産の取得による支出	△255	—
投資有価証券の取得による支出	△1,785	△463,845
投資有価証券の売却による収入	4,580	21,745
関係会社株式の取得による支出	—	△77,490
短期貸付けによる支出	—	△25,251
長期貸付けによる支出	△8,350	△356,940
長期貸付金の回収による収入	22,619	14,616
長期前払費用の取得による支出	△6,235	△113,107

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
その他の支出	△14,022	△22,614
その他の収入	15,417	10,223
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,402,907	△1,436,234
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	700,000
長期借入れによる収入	750,000	—
長期借入金の返済による支出	△15,500	△81,000
自己株式の取得による支出	△53	△19
リース債務の返済による支出	△8,841	△10,516
配当金の支払額	△269,386	△322,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	456,218	285,863
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△104
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△865,928	△658,183
現金及び現金同等物の期首残高	3,644,319	3,074,576
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,778,391	2,416,392

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

当社及び連結子会社の営む事業は医療用機器の製造及び販売業であり、また、すべての拠点は国内に所在しております。当社及び連結子会社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象として報告セグメントとすべきものはありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

当社及び連結子会社の営む事業は医療用機器の製造及び販売業であり、また、すべての拠点は国内に所在しております。当社及び連結子会社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象として報告セグメントとすべきものはありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

## 5. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績を商品区分別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
	金額	金額
EP/アブレーションカテーテル類	819,041	929,755
外科関連	182,013	214,376
インターベンション	113,122	116,541
その他	260,408	323,385
合計	1,374,585	1,584,059

## (2) 受注状況

当社グループの事業形態は、原則として受注残高が発生しないため、記載を省略しております。

## (3) 販売状況

当第2四半期連結累計期間における販売実績を商品区分別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
	金額	金額
リズムデバイス	5,300,487	5,370,051
EP/アブレーション	2,306,823	2,474,310
外科関連	1,144,933	1,158,727
インターベンション	1,516,673	1,860,266
その他	717,021	709,778
合計	10,985,939	11,573,134